

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2022. 6. 4

No. 671

2022年夏季手当 収入動向

6月3日、本部は交渉を行いました。以下、報告します。

まず、営業部から2022年4月の営業成績を説明。

1. 収入動向「対計画 △610百万円（94,4%）」

コンテナは、コロナ禍による需要低迷等により、家電・情報機器、エコ関連物資を除く品目で計画を下回った。農産品・青果物は、玉葱が北海道地区夏季干ばつおよび九州地区での生育遅れ、紙・パルプは、福島県沖地震の影響、食料工業品は、コロナ禍に伴う需要低迷に加え三幸製菓工場火災により低調となった。結果、コンテナ全体では計画比94,3%となった。車扱は、石油が計画を下回った一方、セメントや炭酸カルシウムは計画を上回った。結果、車扱全体では計画比95,5%となった。コンテナ・車扱合計では、計画比94,4%となった。

・コンテナ

農産品・青果物は、玉葱が前年の北海道地区夏季干ばつに伴う作柄不良に加え、九州地区では2月の低温に伴う生育遅れにより低調となり、△117百万円となった。紙・パルプは、3月16日に発生した福島県沖地震による製紙工場被災の影響を受け、△100百万円となった。食料工業品は、コロナ禍による需要低迷に加え2月の三幸製菓工場火災の影響等を受け、△76百万円となった。コンテナ全体では、対計画△565百万円（94,3%）となった。

・車扱

石油が年度初は一時的に増送となったが、3週目に入り需要に一服感が見られ、減収となった。一方、東海地区ではセメントや炭酸カルシウムが配送先の追加により好調となった。車扱全体では、対計画△45百万円（95,5%）となった。

2. 輸送量動向

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響等を受け、積合せ貨物、家電・情報機器を除く品目で前年を下回った。農産品・青果物は、玉葱が前年の北海道地区夏季干ばつによる作柄不良に加え、九州地区では2月の低温に伴う生育遅れにより低調に推移したほか、自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響で減送となった。エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回った。一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、家電・情報機器は、エアコンの需要回復等により好調となった。コンテナ全体では前年比95,6%となった。

車扱は、原油価格高騰や前年に比べ気温が高く推移し石油が減送となった一方で、その他の炭酸カルシウム・フライアッシュ輸送が配送先の追加で需要増となり前年を上回った。

車扱全体では前年比101,8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比97,2%となった。

「営業部」

- 組合・2021年度の決算は非常に厳しい結果に終わったことを真摯に受け止めている。2022年度がスタートして2ヶ月が経過したが、営業部として率直な思いを伝えてほしい。
- 会社・コロナ禍の影響等が継続しており、収入動向は年初計画との乖離があるのが現実であり、引き続き厳しい状況が続いているという認識でいる。
- 組合・世界情勢の先行きが不透明だが、自動車関連は厳しい状況がまだまだ続きそうか。
- 会社・まだ厳しい状況が続いており、各方面から情報収集している。
- 組合・原材料価格の高騰などで、6月から多くの商品が値上げされ、各鉄道会社も運賃値上げを実施しているが、JR貨物としてコンテナ料金値上げ等は考えているのか。
- 会社・現時点、料金値上げは考えていない。
- 組合・「札幌レールゲート」が竣工したが、お客様の反応はどうか。
- 会社・順調な反応である。
- 組合・東京レールゲートEASTは、2022年7月竣工予定だが、順調に進んでいるのか。
- 会社・順調に進んでいる。
- 組合・マルチテナント型物流施設だが、福岡や大阪等、大都市圏に建設予定を考えているのか。
- 会社・勉強している段階である。西日本、九州地区で考えたい。
- 組合・2022春闘交渉で、「北海道地区の雪害等で鉄道輸送が機能していない時期が長く続き、これにより鉄道から他モードに切り換えたお客様はいるが、鉄道に戻る様に取り組んで行く」と発言されたが、他の輸送モードから鉄道に戻ってきているのか。
- 会社・一部戻りきらないお客様もいる。引き続き鉄道に戻る様に取り組んで行く。
- 組合・厳しい舵取りを余儀なくされていると思うが、営業部としてこの窮地を打破する取り組みを何かしているのか。
- 会社・スポット輸送等の取り組みをしっかりと取り組んでいきたい。カーボンニュートラルや2024年問題等の追い風もある。コロナ禍の行動制限も解除されつつあるので、お客様との交渉も精力的にいきたい。
- 組合・世界情勢・物価上昇等で、たとえコロナが収束しても、しばらくは厳しい状況が続くと考えられ、相当厳しい営業活動が続くと思うが、この窮地を打破するべく鋭意努力して頂きたい。私達は安全安定輸送に努めていく。
- 会社・引き続きご協力をお願いします。

「人事部」

- 組合・会社が非常に厳しい状況であることは理解するが、組合員は日々、安全安定輸送に努めている。物価上昇等で組合員の生活もかなり厳しい。JR貨物に希望を抱き期待して入社した新入社員がガッカリしないよう真摯な対応をお願いしたい。
- 会社・コロナ禍での感染拡大防止や災害での努力は十分理解しており、また物価上昇についても認識している。回答の判断要素として、業績のウエイトは大きいですが、足元の状況や貴組合の主張も含め、引き続き社内で検討していく。
- 組合・グループ会社は、本体よりも厳しい労働条件である。JR貨物グループ全体の士気が上がらなければ、近い将来、必ず衰退していくことを自覚し、グループ会社全体の労働条件アップも考慮して頂きたい。
- 会社・主張は受け止める。
- 組合・人材は会社の財産である。労使が一体となり、この窮地を打破していくためには、将来に希望が持て安心して働ける環境づくり「人への投資」が必要である。次回交渉は、「会社の考え」となるが、組合員の士気を上げるためにも誠意ある回答を強く求める。
- 会社・主張を受け止め、引き続き社内議論をしていく。
- 組合・次回交渉（会社の考え）は、6月10日でよいか。
- 会社・6月10日を予定している。
- 組合・組合員の悲痛な叫びを経営陣に伝え、誠意ある回答を強く求める。
- 会社・主張を受け止め、社内議論をしていく。

